

## 第7期

# 運用報告書(全体版)

## プレミアム・カレンシー・オープン (1年決算型) (愛称 金利の羅針盤(1年決算型))

【2015年12月21日決算】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様の「プレミアム・カレンシー・オープン（1年決算型）（愛称 金利の羅針盤（1年決算型））」は、2015年12月21日に第7期決算を迎えたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00~17:00）

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2008年10月24日から、原則として無期限です。	
運用方針	高金利通貨マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、世界の通貨の中から相対的に金利の高い8通貨を選定し、主として当該現地通貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）に分散投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	高金利通貨マザーファンド	外貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	高金利通貨マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年12月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)		GBI-EM(ガバメント・ボンド・ インデックス・エマージング・ マーケット)ブロード・ ディバーシファイド指数(円ベース)		債券 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	百万円
3期(2011年12月20日)	10,240	100	△ 9.7	282.32	△ 0.7	155.787	△ 7.6	82.7	—	1
4期(2012年12月20日)	11,458	100	12.9	326.93	15.8	193.526	24.2	89.2	—	1
5期(2013年12月20日)	13,220	100	16.3	407.49	24.6	222.886	15.2	88.7	—	1
6期(2014年12月22日)	13,998	100	6.6	479.05	17.6	249.639	12.0	71.4	—	1
7期(2015年12月21日)	11,838	100	△14.7	464.97	△ 2.9	224.120	△10.2	90.1	—	122

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注) シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。

(注) GBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット)ブロード・ディバーシファイド指数(円ベース)は、J.P.Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数です。

(注) シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)、およびGBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット)ブロード・ディバーシファイド指数(円ベース)は、当該日前営業日の現地終値です。両指数とも参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)		GBI-EM(ガバメント・ボンド・ インデックス・エマージング・ マーケット)ブロード・ ディバーシファイド指数(円ベース)		債券 組入比率	債券 先物比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)		
	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%
(期首) 2014年12月22日	13,998	—	479.05	—	249.639	—	71.4	—
12月末	14,058	0.4	482.55	0.7	251.254	0.6	91.2	—
2015年1月末	13,486	△ 3.7	467.27	△ 2.5	250.357	0.3	89.7	—
2月末	13,452	△ 3.9	469.43	△ 2.0	249.012	△ 0.3	92.9	—
3月末	13,173	△ 5.9	465.96	△ 2.7	242.449	△ 2.9	93.4	—
4月末	13,402	△ 4.3	467.47	△ 2.4	248.516	△ 0.4	93.4	—
5月末	13,487	△ 3.7	477.01	△ 0.4	251.879	0.9	91.5	—
6月末	13,183	△ 5.8	468.92	△ 2.1	245.892	△ 1.5	92.4	—
7月末	12,933	△ 7.6	475.96	△ 0.6	244.018	△ 2.3	92.9	—
8月末	12,230	△ 12.6	467.18	△ 2.5	228.261	△ 8.6	94.6	—
9月末	11,761	△ 16.0	465.88	△ 2.7	218.413	△ 12.5	81.3	—
10月末	12,060	△ 13.8	467.32	△ 2.4	229.707	△ 8.0	94.4	—
11月末	12,106	△ 13.5	467.10	△ 2.5	230.768	△ 7.6	90.7	—
(期末) 2015年12月21日	11,838	△ 14.7	464.97	△ 2.9	224.120	△ 10.2	90.1	—

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2014年12月23日～2015年12月21日）



期首：13,998円

期末：11,838円（既払分配金（税引前）：100円）

騰落率：△14.7%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2014年12月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「高金利通貨マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・マレーシア、ポーランド、オーストラリア、ニュージーランドの債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラスとなりました。他の投資対象国についても、利回りが上昇したものの、保有債券価格の下落を上回る利息収入を獲得できたことがプラスとなりました。

#### (主なマイナス要因)

- ・投資対象通貨が対円で下落したことがマイナスとなりました。

## 投資環境

（2014年12月23日～2015年12月21日）

原油等の資源価格の下落により、世界的に物価上昇圧力が弱まったことや先進国の緩和的な金融政策により、先進国の債券利回りが低下した影響を受けて、オーストラリアやニュージーランドで債券利回りが低下しました。一方、新興国では、中国などの新興国の景気減速懸念や米国の利上げに対する警戒感の高まり等を背景に、新興国を中心に投資資金の流出の動きが強まったことや、ブラジルやメキシコでは通貨安防衛に向けて利上げが実施されるなど金融引き締めに向けた動きが見られたことから、全般に債券利回りが上昇しました。

為替相場は、日銀の金融緩和策によって投資対象通貨が対円で上昇していた反動に加え、中国の景気減速懸念やギリシャの資金繰り不安、米国の利上げに対する警戒感等を背景に、投資家がリスク回避姿勢を強めたことから、投資対象通貨が対円で大きく下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2014年12月23日～2015年12月21日）

<プレミアム・カレンシー・オープン（1年決算型）（愛称 金利の羅針盤（1年決算型））>

「高金利通貨マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位で維持しました。

○高金利通貨マザーファンド

（債券組入比率）

当期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

（通貨別投資比率）

ブラジル、メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、トルコ、オーストラリア、ニュージーランドの8カ国の通貨を選定し、相場動向に対応して、それぞれの投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期間はオーストラリアドルの比率を比較的高位としました。

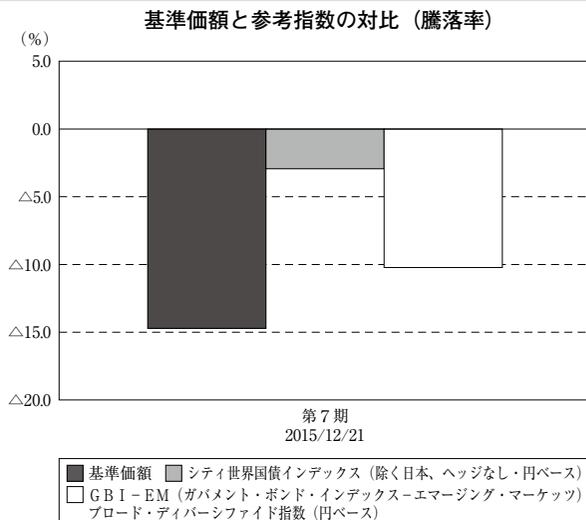
（国別投資比率および年限別投資配分）

ブラジル、メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、トルコ、オーストラリア、ニュージーランドの国債に投資しました。当期間におきましては、オーストラリア国債の比率を比較的高位としました。また、概ね1年以内の年限の債券へ投資を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

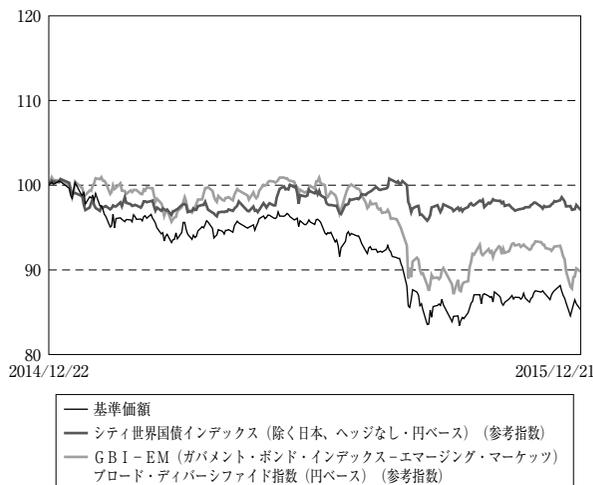
（2014年12月23日～2015年12月21日）

当ファンドの騰落率は、参考指数としているシティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース）のいずれに対しても下回りました。



- (注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。  
 (注) 参考指数は、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数（円ベース）です。

基準価額と参考指数の推移



（注）基準価額は期首を100、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）（参考指数）、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ダイバーシファイド指数（円ベース）（参考指数）は期首前営業日の現地終値を100として指数化しております。期末の基準価額は分配金（税引前）込みです。

分配金

（2014年12月23日～2015年12月21日）

分配対象収益は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、ファンドの収益力、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり100円（税引前）とさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第7期
	2014年12月23日～ 2015年12月21日
当期分配金 （対基準価額比率）	100 0.838%
当期の収益	100
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	4,197

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### （投資環境の見通し）

債券市場につきましては、米連邦準備制度理事会（FRB）が緩やかなペースながらも利上げを継続すると見込まれることや新興国の一部では金融引き締めに向けた動きが見られていることから、利回りが上昇に向かうと予想されます。

為替市場については、米国の利上げへの警戒感に加え、新興国では格下げに対する懸念が残ることから、投資対象通貨の対円での不安定な動きが予想されます。しかし、国内投資家による積極的な海外投資や日銀の追加緩和への期待から、投資対象通貨の対円での下落余地は限定的であると考えます。

### （運用方針）

#### <プレミアム・カレンシー・オープン（1年決算型）（愛称 金利の羅針盤（1年決算型））>

主要な投資対象である「高金利通貨マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持して運用する方針です。

#### ○高金利通貨マザーファンド

世界の通貨の中から、対象国の金利水準のほか、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に判断し、8カ国の通貨を選定して、投資を行う方針です。また、債券投資については、概ね1年以内の年限の債券に投資する方針です。当面は、外貨比率を高位に保ちつつ、オーストラリアドルの比率を徐々に高める方針です。

○1万口当たりの費用明細

（2014年12月23日～2015年12月21日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	130 ( 61 ) ( 63 ) ( 6 )	1.002 (0.474) (0.485) (0.043)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	30 ( 28 ) ( 2 ) ( 0 )	0.235 (0.219) (0.013) (0.003)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用
合 計	160	1.237	
期中の平均基準価額は、12,944円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2014年12月23日～2015年12月21日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

■ 新投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
高金利通貨マザーファンド	千口 132,782	千円 141,200	千口 3,960	千円 3,800

(注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

(2014年12月23日～2015年12月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2014年12月23日～2015年12月21日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2015年12月21日現在)

### 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)		当期		期末
	口	数	口	数	評価額
高金利通貨マザーファンド		千口 1,288		千口 130,110	千円 122,044

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

## ○投資信託財産の構成

(2015年12月21日現在)

項目	当期		期末
	評価額	比率	率
高金利通貨マザーファンド	千円 122,044		% 98.2
コール・ローン等、その他	2,206		1.8
投資信託財産総額	124,250		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 高金利通貨マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(279,515千円)の投資信託財産総額(301,414千円)に対する比率は92.7%です。

(注) 高金利通貨マザーファンドにおける外貨建純資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1メキシコペソ=7.09円、1ブラジルリアル=30.43円、1トルコリラ=41.67円、1ポーランドズロチ=30.85円、1オーストラリアドル=86.81円、1ニュージーランドドル=81.56円、1マレーシアリングギット=28.20円、1南アフリカランド=8.04円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2015年12月21日現在）

項目	当 期 末
	円
(A) 資産	124,250,550
コール・ローン等	2,206,485
高金利通貨マザーファンド(評価額)	122,044,063
未収利息	2
(B) 負債	1,693,788
未払収益分配金	1,035,252
未払信託報酬	650,209
その他未払費用	8,327
(C) 純資産総額(A－B)	122,556,762
元本	103,525,259
次期繰越損益金	19,031,503
(D) 受益権総口数	103,525,259口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,838円

(注) 運用報告書作成時点では監査未了です。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は1,1838円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は104,039,400円、期中一部解約元本額は1,514,141円です。

○損益の状況（2014年12月23日～2015年12月21日）

項目	当 期
	円
(A) 配当等収益	13
受取利息	13
(B) 有価証券売買損益	△16,500,685
売買益	232,271
売買損	△16,732,956
(C) 信託報酬等	△1,227,204
(D) 当期損益金(A+B+C)	△17,727,876
(E) 前期繰越損益金	306,673
(F) 追加信託差損益金	37,487,958
(配当等相当額)	( 37,569,194)
(売買損益相当額)	(△ 81,236)
(G) 計(D+E+F)	20,066,755
(H) 収益分配金	△1,035,252
次期繰越損益金(G+H)	19,031,503
追加信託差損益金	37,487,958
(配当等相当額)	( 37,734,418)
(売買損益相当額)	(△ 246,460)
分配準備積立金	5,719,900
繰越損益金	△24,176,355

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第7期
(a) 配当等収益(費用控除後)	6,394,291円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	37,734,418円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	360,861円
分配対象収益(a+b+c+d)	44,489,570円
分配対象収益(1万口当たり)	4,297円
分配金額	1,035,252円
分配金額(1万口当たり)	100円

### 用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

### 用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	100円
支払開始日	2015年12月28日（月）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

### <お知らせ>

・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。

①運用企画部の新設 ②投資調査部を投資情報部に改称 ③運用各部を投資対象資産別に再編 ④トレーディング部を運用本部から分離

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2015年12月21日現在）

<高金利通貨マザーファンド>

下記は、高金利通貨マザーファンド全体（321,323千口）の内容です。

外国公社債

(A) 外国（外貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
メ キ シ コ	千メキシコペソ 5,000	千メキシコペソ 5,066	千円 35,923	% 11.9	% —	% —	% —	% 11.9
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 1,200	千ブラジルレアル 1,194	36,360	12.1	—	—	—	12.1
ト ル コ	千トルコリラ 600	千トルコリラ 598	24,918	8.3	—	—	—	8.3
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 1,000	千ポーランドズロチ 1,011	31,206	10.4	—	—	—	10.4
オ ー ス ト ラ リ ア	千オーストラリアドル 600	千オーストラリアドル 607	52,755	17.5	—	—	—	17.5
ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド	千ニューージーランドドル 600	千ニューージーランドドル 638	52,084	17.3	—	—	—	17.3
マ レ ー シ ア	千マレーシアリンギット 500	千マレーシアリンギット 506	14,280	4.7	—	—	—	4.7
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 3,000	千南アフリカランド 3,123	25,115	8.3	—	—	—	8.3
合 計	—	—	272,645	90.5	—	—	—	90.5

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当期末の高金利通貨マザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) B B 格以下組入比率は、S & P と Moody's の信用格付けのうち、高い方を採用しています。

(注) 一印は組み入れがありません。

プレミアム・カレンシー・オープン（1年決算型）（愛称 金利の羅針盤（1年決算型））

(B) 外国（外貨建）公社債 銘柄別開示

銘柄	当期						償還年月日
	利率	額面金額	評価額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
メキシコ	%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円			
国債証券	MEXICAN BONOS 6.25	6.25	5,000	5,066	35,923	2016/6/16	
小計					35,923		
ブラジル		千ブラジルレアル	千ブラジルレアル				
国債証券	BRAZIL NTN-F 10	10.0	1,200	1,194	36,360	2017/1/1	
小計					36,360		
トルコ		千トルコリラ	千トルコリラ				
国債証券	TURKEY GOVT BOND 9	9.0	600	598	24,918	2016/1/27	
小計					24,918		
ポーランド		千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ				
国債証券	POLAND GOVT BOND 5	5.0	1,000	1,011	31,206	2016/4/25	
小計					31,206		
オーストラリア		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル				
国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 4.75	4.75	600	607	52,755	2016/6/15	
小計					52,755		
ニュージーランド		千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル				
国債証券	NEW ZEALAND GVT 6	6.0	600	638	52,084	2017/12/15	
小計					52,084		
マレーシア		千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット				
国債証券	MALAYSIA GOVT 4.262	4.262	500	506	14,280	2016/9/15	
小計					14,280		
南アフリカ		千南アフリカランド	千南アフリカランド				
国債証券	REP SOUTH AFRICA 13.5	13.5	3,000	3,123	25,115	2016/9/15	
小計					25,115		
合計					272,645		

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

## 高金利通貨マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

### 高金利通貨マザーファンド 第7期 運用状況のご報告 決算日：2015年6月22日

「高金利通貨マザーファンド」は、2015年6月22日に第7期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	外貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）を主要投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) (参考指数)		GBI-EM(ガバメント・ボンド・ インデックス-エマージング・ マーケット)ブロード・ ディバーシファイド指数(円ベース) (参考指数)		債券組入 比率	債券先物 比率	純資産 総額
	円	騰落率	ポイント	騰落率	ポイント	騰落率			
3期(2011年6月20日)	8,464	4.3	289.25	△ 2.4	172.187	1.5	88.2	—	573
4期(2012年6月20日)	7,759	△ 8.3	290.34	0.4	166.713	△ 3.2	86.4	—	333
5期(2013年6月20日)	9,214	18.8	368.12	26.8	210.864	26.5	91.3	—	296
6期(2014年6月20日)	10,193	10.6	415.31	12.8	229.992	9.1	92.1	—	269
7期(2015年6月22日)	10,441	2.4	474.43	14.2	248.581	8.1	87.8	—	356

(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。

(注) GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、J.P.Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数です。

(注) シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）およびGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、当該日前営業日の現地終値です。両指数とも参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

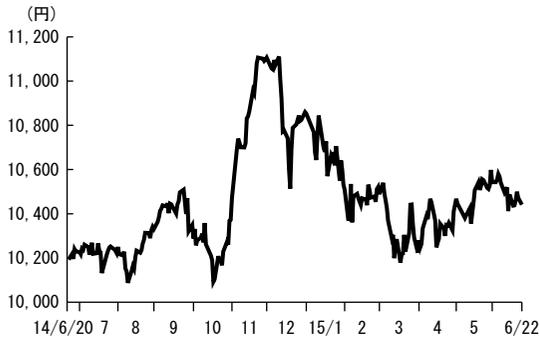
年 月 日	基 準 価 額		シ テ イ 世 界 国 債 イ ン デ ッ ク ス (除 く 日 本 、 ヘ ッ ジ な し ・ 円 ベ ー ス)		G B I - E M (ガ バ メ ン ト ・ ボ ン ド ・ イ ン デ ッ ク ス ・ エ マ ー ジ ン グ ・ マ ー ケ ッ ツ ) プ ロ ー ド ・ デ ィ バ ー ジ フ ァ イ ド 指 数 (円 ベ ー ス)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期 首) 2014年6月20日	円 10,193	% —	ポイント 415.31	% —	ポイント 229.992	% —	% 92.1	% —
6月末	10,227	0.3	415.58	0.1	229.905	△ 0.0	93.2	—
7月末	10,250	0.6	419.35	1.0	232.748	1.2	94.0	—
8月末	10,331	1.4	426.42	2.7	234.274	1.9	91.6	—
9月末	10,288	0.9	438.14	5.5	237.332	3.2	91.9	—
10月末	10,471	2.7	438.30	5.5	242.166	5.3	94.3	—
11月末	11,106	9.0	475.71	14.5	259.984	13.0	95.7	—
12月末	10,853	6.5	482.55	16.2	251.254	9.2	91.7	—
2015年1月末	10,508	3.1	467.27	12.5	250.357	8.9	90.2	—
2月末	10,489	2.9	469.43	13.0	249.012	8.3	93.4	—
3月末	10,280	0.9	465.96	12.2	242.449	5.4	93.8	—
4月末	10,468	2.7	467.47	12.6	248.516	8.1	93.8	—
5月末	10,543	3.4	477.01	14.9	251.879	9.5	91.9	—
(期 末) 2015年6月22日	10,441	2.4	474.43	14.2	248.581	8.1	87.8	—

(注) 騰落率は期首比です。

## ◎基準価額の推移

基準価額は当期間、10,193円から10,441円となりました。

基準価額の推移



(注) 基準価額は1万円当たりです。

## ◎基準価額の変動要因

### (主なプラス要因)

- ・オーストラリア、ニュージーランド、ポーランド、マレーシアの債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことが、プラスとなりました。他の投資対象国についても、利回りが上昇したものの、保有債券価格の下落を上回る利息収入を獲得できたことがプラスとなりました。
- ・メキシコ・ペソ、南アフリカ・ランド、マレーシア・リンギットが対円で上昇したことがプラスとなりました。

### (主なマイナス要因)

- ・ブラジル・リアル、ニュージーランド・ドル、トルコ・リラが対円で下落したことがマイナスとなりました。

## ◎投資環境（市況）

### (債券市場)

投資対象国の債券市場は、国によりまちまちの動きとなりました。利下げを実施したニュージーランドやオーストラリアでは債券利回りが低下しました。一方、利上げを実施したブラジルや政局不安の高まったトルコの債券利回りは上昇しました。

### (為替市場)

日銀の追加金融緩和や年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）による海外投資比率の引き上げを受けて、2014年11月にかけて投資対象通貨が対円で上昇しました。しかしその後は、米国の早期利上げ観測やギリシャの資金繰り不安を背景に、高金利国から資金が流出し、投資対象通貨が対円で下落しました。

## ◎ポートフォリオについて

### (債券組入比率)

当期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

### (通貨別投資比率)

ブラジル、メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、トルコ、オーストラリア、ニュージーランドの8カ国の通貨を選定し、相場動向に対応して、それぞれの投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期間はメキシコ・ペソの比率を比較的高位としました。

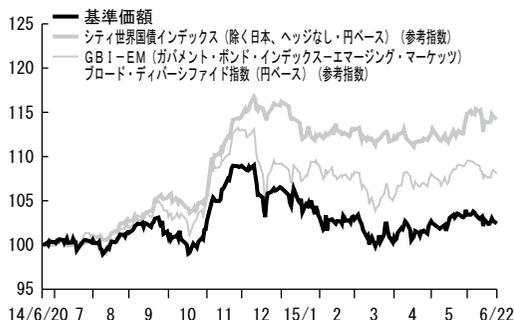
### (国別投資比率および年限別投資配分)

ブラジル、メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、トルコ、オーストラリア、ニュージーランドの国債に投資しました。当期間におきましては、メキシコ国債の比率を比較的高位としました。また、概ね1年以内の年限の債券へ投資を行いました。

## ◎参考指数との比較

当期間における当ファンドの騰落率は、参考指数としているシティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）のいずれに対しても、下回りました。

### 基準価額と参考指数の推移



(注) 基準価額は期首を100、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）（参考指数）、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）（参考指数）は期首前営業日の現地終値を100として指数化しております。

## ◎今後の運用方針

### （投資環境の見通し）

債券市場につきましては、世界的な需要の回復から商品価格が底堅さを維持し、物価上昇圧力が徐々に強まると見込まれることや、米国の早期利上げ観測の高まりから、利回りが上昇する展開が予想されます。

為替市場につきましては、世界的な金融緩和政策が各国の景気押し上げに寄与すると見込まれることに加え、日本の機関投資家による海外資産投資の拡大や日銀による強力な金融緩和を背景に、投資対象通貨が対円で堅調に推移すると考えます。

### （運用方針）

世界の通貨の中から、対象国の金利水準のほか、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に判断し、8カ国の通貨を選定して、投資を行う方針です。また、債券投資については、概ね1年以内の年限の債券に投資する方針です。当面は、外貨比率を高位に保ちつつ、メキシコ・ペソの比率を徐々に高める方針です。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2014年6月21日～2015年6月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	24 (23)	0.226 (0.219)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用
(そ の 他)	( 1)	(0.007)	
合 計	24	0.226	
期中の平均基準価額は、10,484円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2014年6月21日～2015年6月22日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 14,286	千メキシコペソ — (10,000)
	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 864	千ブラジルリアル — (800)
	トルコ	国債証券	千トルコリラ 1,806	千トルコリラ 400 (1,100)
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 1,431	千ポーランドズロチ 510 (900)
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 506	千オーストラリアドル — (400)
	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル 1,058	千ニュージーランドドル 518 (600)
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングgit 805	千マレーシアリングgit — (400)
国	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 5,229	千南アフリカランド 1,519 (3,000)

(注) 金額は受渡代金です。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切り捨てです。

(注) ( ) 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2014年6月21日～2015年6月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2015年6月22日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
	外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	千 円			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
メ キ シ コ	千メキシコペソ 7,000	千メキシコペソ 7,184	千円 57,475	% 16.1	% —	% —	% —	% 16.1
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 900	千ブラジルレアル 894	35,430	9.9	—	—	—	9.9
ト ル コ	千トルコリラ 600	千トルコリラ 595	27,157	7.6	—	—	—	7.6
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 800	千ポーランドズロチ 822	27,454	7.7	—	—	—	7.7
オーストラリア	千オーストラリアドル 400	千オーストラリアドル 403	38,456	10.8	—	—	—	10.8
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 600	千ニュージーランドドル 644	54,558	15.3	—	—	15.3	—
マ レ ー シ ア	千マレーシアリングギット 800	千マレーシアリングギット 801	26,331	7.4	—	—	—	7.4
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 4,500	千南アフリカランド 4,571	46,172	13.0	—	—	—	13.0
合 計	—	—	313,035	87.8	—	—	15.3	72.5

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当期末のファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) B B 格以下組入比率は、S & P と Moody's の信用格付けのうち、高い方を採用しています。

(注) —印は組み入れがありません。

高金利通貨マザーファンド

(B) 外国(外貨建) 公社債 銘柄別開示

銘柄	当期					償還年月日
	利率	額面金額	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ	%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
国債証券	MEXICAN BONOS 6.25	6.25	7,000	7,184	57,475	2016/6/16
小計					57,475	
ブラジル		千ブラジルレアル	千ブラジルレアル			
国債証券	BRAZIL NTN-F 10	10.0	900	894	35,430	2017/1/1
小計					35,430	
トルコ		千トルコリラ	千トルコリラ			
国債証券	TURKEY GOVT BOND 9	9.0	600	595	27,157	2016/1/27
小計					27,157	
ポーランド		千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ			
国債証券	POLAND GOVT BOND 5	5.0	800	822	27,454	2016/4/25
小計					27,454	
オーストラリア		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル			
国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 4.75	4.75	400	403	38,456	2015/10/21
小計					38,456	
ニュージーランド		千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル			
国債証券	NEW ZEALAND GVT 6	6.0	600	644	54,558	2017/12/15
小計					54,558	
マレーシア		千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット			
国債証券	MALAYSIA GOVT 3.835	3.835	800	801	26,331	2015/8/12
小計					26,331	
南アフリカ		千南アフリカランド	千南アフリカランド			
国債証券	REP SOUTH AFRICA 13.5	13.5	4,500	4,571	46,172	2015/9/15
小計					46,172	
合計					313,035	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

## ○投資信託財産の構成

(2015年6月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 313,035	% 72.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	119,810	27.7
投 資 信 託 財 産 総 額	432,845	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) 当期末における外貨建純資産(326,836千円)の投資信託財産総額(432,845千円)に対する比率は75.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1メキシコペソ=8.00円、1ブラジルリアル=39.62円、1トルコリラ=45.57円、1ポーランドズロチ=33.40円、1オーストラリアドル=95.31円、1ニュージーランドドル=84.67円、1マレーシアリングギット=32.87円、1南アフリカランド=10.10円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年6月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	432,845,478
コール・ローン等	117,202,680
公社債(評価額)	313,035,732
未収利息	2,563,245
前払費用	43,821
(B) 負債	76,448,119
未払金	76,448,119
(C) 純資産総額(A-B)	356,397,359
元本	341,336,877
次期繰越損益金	15,060,482
(D) 受益権総口数	341,336,877口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,441円

(注) 当ファンドは監査対象ではありません。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は1.0441円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は264,285,997円、期中追加設定元本額は132,782,476円、期中一部解約元本額は55,731,596円です。

(注) 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、プレミアム・カレンシー・オープン(毎月決算型)(愛称 金利の羅針盤)207,648,285円、プレミアム・カレンシー・オープン(1年決算型)133,688,592円です。

## ○損益の状況 (2014年6月21日～2015年6月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	20,053,641
受取利息	20,053,641
(B) 有価証券売買損益	△14,925,923
売買益	6,660,952
売買損	△21,586,875
(C) 保管費用等	△ 695,623
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,432,095
(E) 前期繰越損益金	5,097,267
(F) 追加信託差損益金	8,417,524
(G) 解約差損益金	△ 2,886,404
(H) 計(D+E+F+G)	15,060,482
次期繰越損益金(H)	15,060,482

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(G)解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;お知らせ&gt;

- ・法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2014年12月1日)
- ・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。
  - ①運用企画部の新設
  - ②投資調査部を投資情報部に改称
  - ③運用各部を投資対象資産別に再編
  - ④トレーディング部を運用本部から分離